

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

| 中期取組目標 |
|--|
| <p>○一人ひとりの子どもにとって「授業が楽しい」「クラスが楽しい」「学校が楽しい」学校づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「分かる」「できる」楽しさが実感できる授業、主体的・対話的・深い学びがある授業を推進し学力を向上させます。 ・一人ひとりの子どもが豊かなかかわりの中で安心して学校生活を送れるようにし自尊感情を育みます。 ・心と体の健康に関心を持ち自ら進んで体力・健康づくりに取り組もうとす子を育て、体力を向上させます。 ・家庭・地域の連携等から、集団の一員としての自覚や責任を学び、人のために行動する子を育てます。 ・新しいことに夢や希望をもってチャレンジし、よりよく生きる喜びを感じることができる子を育てます。 |

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|--------|--|
| 豊かな心 | <p>・一人ひとりの子どもが豊かなかかわりの中で安心して学校生活を送れるようにし、自尊感情を育む。そのために、「学校全体で礼儀や作法を重視した指導」「成功体験や協働のよさを繰り返し感じることができる指導」「思いやり、親切体験が味わえる指導」を充実する。</p> |
| 担当 | 道徳部 |

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は、のびのびとしており元気で活発である。家族や友だちを大切に思い、異学年同士でも仲良く遊んだり、地域やPTAの行事にも進んで参加したりして楽しんでいる。その反面、自己肯定感が低く、自分が大切にされていることを実感できないでいる児童が目立つ。また、自分の思いを表現することが苦手で、コミュニケーション能力の不足や言葉でうまく表現できないことからトラブルを招くことが多い。物事の善悪や道徳的な価値は知ってはいるが、突発的な感情で行動し、配慮を欠く言葉を使うこともある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・教科書を活用し、全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・具体的な指導方法や評価について検討・研修を行う。

【項目 人権教育】人権感覚・意識の育成

- ・いじめアンケート・YPアセスメントシートを活用し、安心して学校に通える環境をつくる。
- ・学習に話し合う場面を意識的に取り入れ、互いを認め合うことで、自己有用感を育てる。

【項目 自分づくり教育（キャリア教育）】

- ・「たてわり活動」を中心とした異学年集団の活動を通して高学年の主体性を伸ばし、責任感をもって取り組むとともに下級生を思いやる心をもって活動できるような時間や場を適切に設定する。